

検査名 : X線CT検査

1. CT検査を受けるにあたり

今回のCT検査は病気、外傷の診断や治療方針の決定、治療効果判定のために必要です。検査部位に応じて被ばくはありますがCT検査による画像情報を得る事が有益と判断したため今回の検査を行います。

2. CT検査とは

CT 検査とは、コンピュータ断層撮影法（Computed Tomography）の略です。

装置が回転しながら人体に X 線を当て、その情報をコンピュータ処理して鮮明な輪切り画像を得ることが出来ます。短時間で広範囲を検査することが可能であり、薄い輪切り画像を重ね合わせることで立体的な画像（3次元画像）を作ることにも出来ます。

3. 検査方法

- ・検査部位や内容によりますが検査時間は概ね 5 分から 10 分程度です。
- ・検査台の上に動かないように寝ます。合図にあわせて呼吸を止めて撮影する場合があります。

4. CT 検査の被ばく

CT 検査では体の痛みはありませんが、X 線の“被ばく”を伴います。当院では診断参考レベルをもとに線量の最適化を図っています。特に、影響を受けやすい子供さんや眼などを検査する場合では更に線量を抑えた設定で検査します。

	1 回の撮影における 推定実効線量〔mSv〕※
頭部	2.2
胸部	6.5
胸部～骨盤部	12.7
腹部～骨盤部	9.4

※ICRP Publ.102 Table.2 より換算

CT 検査の被ばく線量では急性の放射線障害が発生する可能性はありません。

被ばく線量の増加に伴い発がんリスクが増えることが知られていますが、100 ミリシーベルト以下の被ばく線量による発がんリスクは他の要因（生活習慣など）による発がんリスクに隠れてしまうほど小さいとされています。ご自身の検査における詳細な被ばく線量をお知りになりたい方は放射線部受付までお問い合わせ下さい。

5. 検査の注意点

- ・撮影する部位に金属類（ヘアピン・ネックレスなど）がある場合には取り外して検査を行います。
- ・植込み型除細動器（ICD）やペースメーカーなど、植込み型電子医療機器の中には X 線検査で誤作動を起こす機種があります。該当する方は事前にお申し出下さい。
- ・胎児への影響を避けるため、妊娠中もしくは妊娠の可能性がある場合は原則として CT 検査の適応外となりますので、事前にお申し出下さい。

連絡先：聖隷浜松病院 8:30～17:00 TEL 053-474-2222(代)

